

MICHAEL VATIS

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Founding director of the National Infrastructure Protection Center at the FBI
- Expert on security in the Information Age



Topics

- Cyber Security
- Technology

Michael Vatisは、Steptoeのニューヨークオフィスのパートナーです。彼の業務は、インターネットとeコマース、テクノロジーの問題に焦点を当てており、プライバシー、セキュリティ、暗号化、インテリジェンス、法執行機関、インターネットギャンブル、インターネットコンテンツの国際規制に関する法律上のアドバイスと戦略的カウンセルを提供しています。彼はまた、経験豊富な上訴訴訟人であり、合衆国最高裁判所および連邦控訴裁判所の前でクライアントを代表しています。

ヴァティス氏は、法律、政策、技術の交差点で最先端の問題に取り組むために彼のキャリアのほとんどを費やしてきました。彼は、コンピューター犯罪、サイバーテロ、サイバースパイ活動、情報戦などのサイバー攻撃の検出、警告、対応を担当する最初の政府機関であるFBIの国家インフラストラクチャ保護センターの創設ディレクターでした。それ以前は、司法副長官および司法省国家安全保障局の副長官を務め、司法副長官および司法副長官に助言し、テロ対策、諜報、暗号化を含む同省の活動を調整しました。とサイバー犯罪。その立場で、彼はまた、重要インフラ保護に関する国内初の政策の策定を主導するのを支援しました。ヴァティス氏は国防総省の特別検察官を務め、国防長官および国防副長官および国防副長官の機密性の高い法律および政策問題を処理し、国防長官賞を受賞しました。

2001年に政府を去った後、Vatis氏は、連邦政府が資金提供するテロ対策およびサイバーセキュリティ研究所であるダートマス大学のセキュリティ技術研究所の初代所長を務めました。彼は同時に、情報インフラストラクチャ保護研究所(I3P)の初代会長を務めました。主要なサイバーセキュリティ研究組織のコンソーシアムであるI3Pは、業界、政府、および学界と協力して、国のコンピュータおよび通信ネットワークのセキュリティを向上させるための包括的な研究開発アジェンダを開発しました。ヴァティス氏はまた、情報時代の国家安全保障に関するマークルタスクフォースの事務局長を務めました。これは、政府が情報と技術をより効果的に使用する方法を推奨する、テクノロジー企業の幹部、元政府関係者、市民自由主義者の非常に影響力のあるグループです。市民の自由を守りながらテロと戦うこと。ヴァティス氏は、グループの2番目のレポートの主執筆者であり、その勧告は9/11委員会によって採択され、2004年の諜報改革法に含まれていました。

Vatis氏は、ニューヨーク大学法学部の法とセキュリティに関するセンターのシニアフェローであり、テロ対策、インテリジェンス、テクノロジーの問題に関する多数の専門家ワーキンググループのメンバーです。彼は現在、攻撃的な情報戦の政策結果と法的/倫理的影響に関する全米科学アカデミー/全米研究評議会委員会のメンバーであり、サイバーセキュリティ専門家の独立したグループである第44代大統領のためのサイバーセキュリティ委員会の委員を務めました。既存および潜在的なサイバーセキュリティの脅威を調査し、米国政府および民間企業向けの推奨事項を作成しました。Vatis氏はまた、テロ対策、諜報活動、サイバーセキュリティの問題について議会委員会の前で定期的に証言しています。彼はまた、

テレビ、ラジオ、印刷媒体で頻繁にインタビューを受けており、多くの有名な法科大学院や大学で客員講師を務め、世界中の業界会議で講演を行っています。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988